



簡単に覚えられて奥が深いゲームシステム！
解りやすいプレイ動画などは、公式サイト economica.jp までアクセス！

1. ゲームの概要

対戦型のカードゲームです。「イベント」や「リスクヘッジ」を駆使して自分の「アセット」の価値を高めたり、相手のアセットの価値を落したりして遊びます。

1回20分ほどでプレイできる、戦略性の高いスリリングなゲームです。

2. 勝利条件

プレイヤーは下記のいずれかを目指して戦います。同時に起こった場合は、上に記載されているものから優先とします。

- 1) 相手より先に、ストックフィールドに5枚のアセットを置く。
- 2) 相手のフローフィールドにあるアセットを0枚にする。
- 3) 山札がゼロになった瞬間に相手より多いストックを持っている。
(ストックも同じ場合は、山札がなくなったプレイヤーの敗北となります)

3. カードの見方

このゲームには「アセット」「イベント」「リスクヘッジ」という3種類のカードがあります。

■アセット

アセットは、赤色、黄色、緑色、青色の縁取りのカードです。アセットの価値を高めてストックフィールドに移動させることを目指します。



- ①**カード名**：このカードの名前です。
- ②**価値段階**：アセットの価値には0～5の段階があります。上側の数字が現在の価値を表しています。
- ③**特殊能力**：このカードが持つ特殊能力です。特殊能力を持たないカードもあります。
- ④**コスト**：このカードを、フローフィールドに登場させるときに必要なコストです。
- ⑤**QRコード**：ゲームでは使用しませんが、このカードの詳しい説明にリンクしています。

- アセットカードを使うときは「フローフィールド」に出します。
- 登場したときは価値2（自分から見て上向き）になるように置きます。
- イベントカードによって価値が上下し、それに伴いカードを回転させます。
- 価値5になったところでストックフィールドへと移動します。
- 価値0になったら捨札置場へと移動します。
- 手札からインベストすることで自分のフローフィールドにあるほかのアセットカードの価値を1段階上昇させることもできます。
- ほかのカードを使用するためのコストとしても使えます。

■イベント

イベントは、茶色の縁取りのカードです。使用して何らかの効果を得ることができます。アセットカードの価値を上下させたり、手札の枚数を増減させたりできます。



- ①**カード名**：このカードの名前です。
- ②**特殊効果**：このカードが持つ特殊効果です。特殊効果を持たないカードもあります。
- ③**価値変動**：このカードを使用したときに、各色のアセットの価値がどのように変動するかを表しています。
- ④**コスト**：このカードを、マーケットフィールドに登場させるときに必要なコストです。
- ⑤**属性**：このカードが持つ属性です。
- ⑥**QRコード**：ゲームでは使用しませんが、このカードの詳しい説明にリンクしています。

- 自分のターン中にのみ使用することができます。
- イベントカードを使うときは「マーケットフィールド」に出します。
- 使用するときにはコストが必要な場合があります。
- 使用した場合はすぐに効果が発動されます。
(ただし相手にリスクヘッジカードを使用された場合は異なります。)
- 使用した後は「捨札置場」に送ります。
- ほかのカードを登場させるためのコストとしても使えます。

■リスクヘッジ

リスクヘッジは、ピンク色の縁取りのカードです。相手がイベントカードを出した時のみ使用できます。相手のイベントカードの効果を消したり、被害を抑えたりすることができます。



- ①**カード名**：このカードの名前です。
- ②**特殊効果**：このカードが持つ特殊効果です。特殊効果を持たないカードもあります。
- ③**コスト**：このカードを、マーケットフィールドに登場させるときに必要なコストです。
- ④**QRコード**：ゲームでは使用しませんが、このカードの詳しい説明にリンクしています。

- リスクヘッジカードの効果は、イベントカードの効果を上書きします。
- リスクヘッジカードに対して、リスクヘッジカードを出すことはできません。
- 相手の1つのイベントカードに対して2つ以上のリスクヘッジカードを使用することはできません。
- 相手のイベントカードに対応する場合に使用できます。
- リスクヘッジカードを使うときは「マーケットフィールド」に出します。
- 使用するときにはコストが必要な場合があります。
- ほかのカードを登場させるためのコストとしても使えます。

■コストとは

カードの右上に黒い丸に白字で「2」のような記載があります。これがコストです。このカードを使用する場合は手札の中から2枚を捨てなければなりません。どの種類のカードでも構いません。コスト0のものは、手札を捨てずに使用できます。

■インベストとは

自分のフローフィールドに出してあるカードに、手札のアセットカードを1枚重ねることによって、価値を1段階上昇させることができます。このことを「インベスト」と呼びます。重ねたカードは破棄します。同じ色のカードでなくてもインベストすることが可能です。また、インベストするアセットカードの使用コストには関係なく、1枚につき1段階上昇させることが出来ます。インベストの結果価値段階が5になったアセットカードはすぐにストックフィールドへ送られます。

4. ゲームの流れ

1) 準備

- ・コスト0のアセットを3枚、フローフィールドに伏せて置く。
- ・残りのカードをよくシャッフルし、裏返して山札置場に置く。
- ・山札の上から4枚を取って手札にする。
- ・じゃんけん等で先攻か後攻かを決める。
- ・伏せておいた3枚のアセットを表にする。

2) 自分のターン

- ・山札から2枚カードを引く（一番最初の先攻の場合のみ1枚）
- ・手持ちのカードがある限り、イベントやアセットを使用できる。
- ・ターン終了を宣言し、相手のターンになる。
- ・ターン終了時に7枚以上手札がある場合は、6枚になるようにカードを捨てる。

3) 相手のターン

- ・相手がイベントカードを使用した際に、対応するリスクヘッジカードを持っていれば、使用できる。

4) ゲームの終了

下記の場合はゲームを終了する。

- ・ストックフィールドに5枚のアセットがたまった時 ⇒ 勝利
- ・フローフィールドにアセットが1枚もなくなった時 ⇒ 敗北
- ・山札が底をついた時 ⇒ その時点でストックの多いほうが勝利

5. 詳細ルール

フィールドの説明

山札置場、捨札置場が右側に、左側にストックフィールドがあります。中央上段にはマーケットフィールド、中央下側にはフローフィールド。

- ・**山札置場**：山札を裏にして置いておく場所です。
- ・**捨札置場**：使用した後のイベントカードやリスクヘッジカード、コストとして使用されたカード、破棄されたアセットカードなどを、表にして置いておく場所です。カードの順番は問いません。
- ・**マーケットフィールド**：イベントカードとリスクヘッジカードを出す場所です。
- ・**フローフィールド**：アセットカードを登場させる場所です。各プレイヤーは自分のフローフィールドに最大で5枚まで置くことができます。
- ・**ストックフィールド**：価値段階が5になったアセットカードを置く場所です。

デッキの構成

デッキは50枚で構成します。同名のカードは、デッキに4枚まで入れることができます。アセットカードは合計15枚までしか入れることができません。

遅延行為

相手の山札の枚数や捨札置場のカードなど、反則の疑いがあるときだけ、最低限の回数のみチェックが可能です。反則の疑いの無いときにチェックを要求する行為や、何回もチェックを要求する行為は遅延行為として反則負けになります。